

不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.59 (2021.2.26)

令和2年度スローガン
みんなで目指す顧客感動経営
全てのステークホルダーの満足度向上
～和賀組さんで良かったと言われよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄

「一日に一字習えば十日には十字になるぞ習え寿熊（ながくま）」これは長州藩士から明治・大正時代に内閣総理大臣となり、安倍晋三氏に抜かれるまで歴代トップの通算在任日数 2886 日を誇る桂太郎氏の父桂與一右衛門が、息子寿熊（ながくま・幼名）に語った教える言葉で、文字通り「毎日一文字を覚えれば 10 日で 10 文字を覚えられるのだから勉強なさい」という意味です。桂太郎は生涯この父の教えるを大事にし、明治 3 年当時の帝政ドイツに私費留学した際、毎日ドイツ語の単語を 10 語覚え 3 年間の留学期間を終える頃には相当なドイツ語の達人になっていたそうです。このことは「平凡な事でも挫折することなく継続していれば非凡になる、まさに「継続は力なり」ということに他なりません。

1 月 29 日に二級建築施工管理技士、2 月 3 日には 2 級建築施工管理技士の合格発表がありました。建築は 5 名受験して 1 名が合格、2 名が学科のみの合格で、土木は 6 名受験して 4 名が合格しました。特筆すべきは土木の合格者 4 名中 3 名が女性社員であったということで、しかも全員が高校は普通科で受験を決意したのも昨年の夏だったということです。当社以外にも雄勝建設業協会の女性部会「はなこまち」のメンバーに合格者がいるようで、このことは業界として取り組んだ女性部会の結成がまさに「ポジティブアクション(固定的な男女の役割分担意識や過去の経緯から男女労働者の間に差が生じて、これを解消しようとする自主的かつ積極的な取組)」として機能し、会員が相互に刺激し合うことで良い結果につながったものと評価します。

マサチューセッツ工科大学の認知科学研究者で、加齢に伴う知能の変化に関する研究をしているジョシュア・ハーツホーン氏によると、能力によってピークを迎える年齢が異なり次の通りだそうです。「18 歳前後：総合的な情報処理能力と記憶力」「22 歳：名前を記憶する能力」「32 歳前後：顔認識能力」「43 歳前後：集中力」「48 歳：感情認知能力」「50 歳：基本的な計算能力」「50 歳前後：新しい情報を学び理解する能力」「67 歳前後：語彙力」。また私達は**加齢と共に記憶力が衰退**すると思いがちですが、最新の研究で**それは思い込み**であり年をとっても覚える力はそれ程低下せず、大事な事は「思い出す」力を高める工夫をすることなのだそうです。

私達建設業に従事する者にとって資格取得は仕事をする上で極めて重要なステップです。「自分にはもう無理だ」と思い込んだ瞬間にもう合格することは出来なくなるでしょうし、「よしやってやるぞ」と決意して勉強すれば必ず合格できるものだとすることを今回の合格者の皆さんは証明してくれました。自分で自分の限界を決めることなく、「常に向上心を持ち続けて新たな事にチャレンジをし続ける」、今後ともこの良い流れが社内および業界に継続することを大いに期待します。

ハローワーク建設業セミナー

1/27(一社)雄勝建設業協会とハローワークの共催による求職者のための「建設業セミナー」を開催しました。当日は 9 名の参加者で、建設業とはどのような仕事なのか、その魅力について話させて頂きました。今後も定期的に開催の予定です。



秋田さきがけ新聞

2/14 の秋田さきがけ新聞で社屋前に制作した雪像に関して記事して頂きました。「平和な日常を奪った新型コロナウイルスという盗賊」一日も早く退散して欲しいものです。

湯沢 家々に「犬っこ」 コロナ退散願う

市内中心部の事業所前には「犬っこ」や「お犬っこ」の雪像が見られた。建設会社の和賀組前には、犬っこ体とお犬っこ体が設置された。まじりの日に雪像がないのはさみしいと、12日に社員5人で制作した。

和賀幸雄社長(62)は江戸時代に佐竹南家の殿様が大盗賊を追った際、住人が「再び悪党が現れないように」と願い、小さな犬の形を供えさせたといううりの縁起になぞらえ、平和な日常生活を奪った新型コロナウイルスという盗賊を追いつめてもらえればと話した。

秋田テレビ LIVE NEWS 秋田



2/14 夜 6 時半ごろに取り上げて頂きました。ネットニュースで見られますので是非視聴してください。

